

「グループ対抗 里山デジカメ選手権」公開審査 最終審査・ミニシンポジウム

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、「身近な森林の再発見」をテーマとして、グループによる里山デジカメ選手権への写真募集を行ったところ、全国各地から、里山に対する熱い想いが込められ、技術的にも高いレベルの作品を多数お寄せいただきました。

(応募写真数：87組261枚)。

先日、今森光彦氏(写真家)のご指導のもとで一次審査を行い、これらの中から、30組の作品を選考いたしました。

これを受け、当センターでは、今森光彦氏、只木良也氏(名古屋大学名誉教授)、青山佳世氏(フリーアナウンサー)に協力いただき、下記のとおり一次審査で選考された作品の発表と公開による最終審査を行います。

また、審査結果発表前に、滋賀県内を中心に活動されているボランティア団体の活動を通して里山や森林の現状を探るミニシンポジウムを開催します。

今森先生による一次審査講評

当里山デジカメ選手権は、単に写真の技術だけを審査しているのではなく、内容面も含めて審査しており、このことを応募者も十分理解していただいて、よい作品が揃い見ごたえがありました。

作品には写真的におもしろいものが多くあり、中にはパッと見たら写真は目立たないのですが、中身的にユニークな活動をされているのが目を引きました。

里山を再生していくというのは大変なことです、人が人に関わることによって喜びを得られるという、なにか笑顔や気持ちよさが伝わってくるような写真が多かったです。こうした活動がどんどん広がって森が保護され、未来に残ってほしいと思います。

審査当日は林野庁長官賞等を選ぶことになるのですが、今からすごく楽しみです。

記

1. 日時
平成22年11月13日(土) 12:30~16:30 (ミニシンポジウムは14:50~15:40)
2. 場所
滋賀県立琵琶湖博物館(1Fホール)
〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091番地
TEL 077-568-4811(代表)
3. 審査対象
① 学校関係グループ(小学校~高等学校) 10グループ
② 森林・林業に関する活動グループ 10グループ
③ 一般グループ(仲間や企業など①②以外のグループ) 10グループ
計 30グループ
4. 作品の発表
審査に先立って、各グループ代表が写真の前で里山に対する想いについてスピーチを行います。
5. 入場料等
無料(先着180名)(琵琶湖博物館の展示室等は有料です。)
詳細についてはチラシをご覧ください。

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林環境保全ふれあいセンター
担当：自然再生指導官 本田 誠
連絡先：京都市上京区西洞院通り下長者町下ル
丁子風呂町102 京都農林水産総合庁舎内
TEL 075-414-9049
ホームページ： http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/